

山梨放送

活動名	YBS メディアリテラシー教室
実施期間	令和6年11月15日(金)
実施回数	社内見学1回

【実施学校】 駿台甲府小学校

【事業実施の成果・課題】

私立小中高一貫校である駿台甲府小5年生2クラス71名を対象に実施。メディアリテラシーに関する対面授業とスタジオ見学を中心に実施。参加児童にはワークシートを用意、解説やDVD視聴、見学を通じて各自の感想や学んだことを書き込んでもらった。

山梨放送の自社制作番組についての視聴経験について聞いたところ、ほぼ全員に視聴経験があり、積極的に話を聞く姿勢がうかがえた。

共通仕様DVDの視聴では主人公の失敗エピソードに笑い声が聞かれた一方、テレビニュースに必要な「速報性」「正確性」「公平性」「公共性」について熱心にメモを取る様子が見られた。

各児童が授業で活用しているiPadを用いて動画撮影の基本を解説、もっとも基本的なカメラワークを実践的に学んでもらった。感想には見やすい映像を撮る勉強できてよかったという記述が多く、動画撮影への関心の高さが伺えた。

局内ではテレビのニューススタジオ、情報番組スタジオとサブ、ラジオの生放送スタジオを見学した。共通仕様DVD内で紹介されているニュースデスク、編集マンら大勢のスタッフが関わってニュースを制作していることを実際に体験することができ、より理解が深まったのではないかと感じた。

弊社が行っている中学生対象の職場体験会ではニュース動画づくりを行っているため、今回もできないかと考えたが、予算・時間的な制約があり見送った。

【事業担当者・講師の感想】

メディアリテラシーをテーマに、小学5年生が飽きずに半日授業に集中できるか不安もあったが、スタジオ見学を組み込んだことで、積極的に取り組んでくれた。

弊社情報番組の認知度が高かったこともあり、スタジオセットの見学を通じて身近に感じてもらいながら授業を進めることができた。

小学生高学年のテレビメディアの接触率は高いので、この層を対象にメディアリテラシー授業を行うことは意義が大きいと思う。フェイクニュースではない価値ある情報とは何か、テレビメディアへの信頼性、親和性も高めることができたのではないかと感じた。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

＜担当教諭の感想＞

VTR の視聴や、iPad を使った動画撮影、スタジオ見学等々、多彩な内容だった。私たちが普段何気なく目や耳にしているメディア情報が、どのような部分に気をつけて作られているのか、私たちの元に届くのか、身近に触れることができよかつた。子どもたちは、はじめ緊張した様子だったが、荻野さんをはじめ、アナウンサーの方、スタッフの方に温かく対応していただけたことで、スタジオの見学や撮影をする中で積極的に質問することができるようになっていた。様々な場面で、子どもたちが活発に活動している姿が印象的だった。時間に余裕があれば、実際に「取材～ニュース動画の作成～キャスターによる発表」という流れを取り組ませてみてもおもしろいのではないかと感じた。

＜子どもたちの感想＞

- ・普段見ているテレビ画面のスタジオに今いることが嬉しい。
- ・テレビに映っているのは数人だけどその裏にはたくさんの方がいることがわかつたので、思い出しながら番組を見てみたい。
- ・動画の撮り方を教えてもらったので、何か撮るときはこのことを活かしたい。テレビカメラを担ぐことができカメラマンの気持ちになれた。

＜視聴者の感想＞

- ・スマホに触れることが増えてくる小学高学年の世代に、確かなニュースの重要性を知ってもらうことは大切だと思う。
- ・スタジオ見学での一喜一憂で終わらないよう、メディアの役割についての理解が深まる授業になることを期待する。